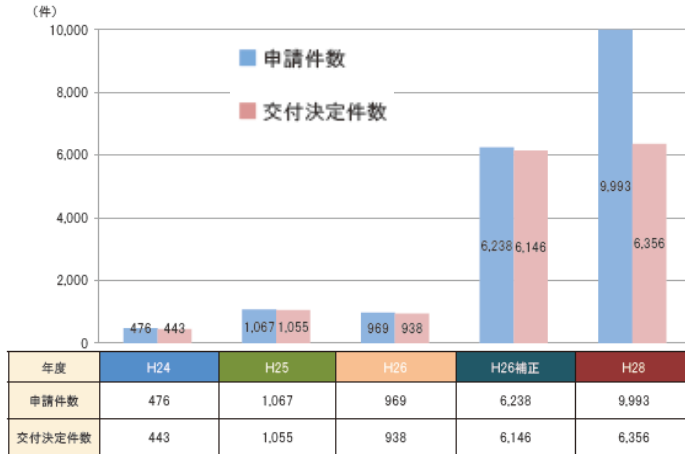


『Z E H 情報 かわら版』

ZEH支援事業 調査発表会2016が開催。(その3)

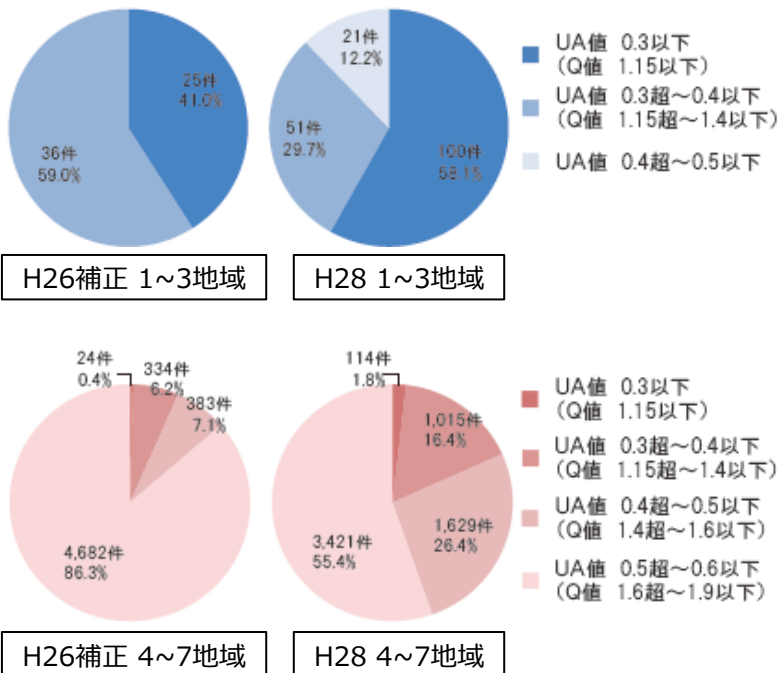
今回は説明会第3部「ZEHビルダー支援事業(事業の概要と申請状況)」でのトピックスをお伝えします。
 下記グラフは全てSII（一般社団法人 環境共創イニシアチブ）公開情報から抜粋したものです。

■ 補助金申請・交付決定数推移



H26年補正（H27年実施）から申請数が急増し、H28年には約10,000件に達しています。経産省ではH28年補正予算にて補助金の位置づけを「ZEH支援」→「ZEH普及加速」と改訂し事業継続しました。国としても導入段階から普及段階に入ったと判断した現れと捉えています。

■ 外皮性能別の交付決定件数の内訳



H28年の交付決定物件の外皮性能は、1～3地域、4～7地域ともにH26年補正時に比べて良い(UA値が小さくなる)傾向で、外皮性能UPが図られています。これは採択の上での加点要素の影響が大きいと思いますが、加点以上の外皮性能の物件も多く断熱性能を上げる = エネルギーの削減ということが意識されてきたとも考えられます。

※H28年の1～3地域でUA値 0.4超～0.5以下が増加しているのは、H28年は3地域の外皮性能が緩和(UA値0.4→0.5)されたためです。

SII公開資料のダウンロードはこちらから ⇒ https://sii.or.jp/zeh28/file/doc_1122.pdf